

## 翻訳にあたってのヒント

### その 43

#### How do you think about Japan!?

今から 20 年程前（1980 年代半ば）のことになるが、当時東京にあった数少ない英会話喫茶によく通い英会話に熱を入れていた時期があった。毎週日曜日ともなれば開店から入り浸り、ある日には開店から閉店まで入店していたという珍記録（そのような人はそれまで皆無で私が初めてだという話もスタッフから聞かされた！）も打ち立てている。

そんな折り、そこの常連の一人であったある英語の達人（日本人）が、出くわしたアメリカ人に ”How do you think about Japan?” という質問をしていた時には驚いた。この頃、「英語は基本が肝心だ」をモットーに英語の勉強に熱中していた私は、このような英語の使い方が間違いであるということを耳にタコができるほど聞かされていたからである。意に反して、当のアメリカ人はその誤りを指摘せず、その言わんとする意味を汲んで質問に答えていたが、このような言い方は我々日本人がよくやる間違いであり、英米人にもよく指摘される誤った英語の用法である。

これは、”How do you like Japan?”、”How do you feel about Japan?”、あるいは ”What do you think of Japan?” というのが正しい英語である。

このことからすると、How は think とは結びつかず、like や feel という動詞と結びつきそれらと語呂が会う語であるようだ。結論を言えば、How は、「どのように、どうやって」という意味を示す副詞であるから、How do you think of it?（どうやってそれをお考えですか？）と聞かれたら、あちらとしては I use my brains.（頭を使ってね）としか答えようがないということになろう。

◆ how にちなんだ豆知識（関係副詞としての how には「先行詞がつかない」）：

- ① This is how it came about. = This is the way in which it came about. それはこんなふうにして起こった。
- ② That's how I made it. = That's the way (in which) I made it. それがそれを作った私のやり方だ。（× That's the way how I made it. とはいわない。）
- ③ That's how the money goes. (= That's the way the money goes.) そんなお金はそういうふう消えてしまうのだ。
- ④ That's not how I do it. (= That's not the way I do it.) それは私のやり方とちがう。（× That's not the way how I do it. は誤り。）

※ 関係副詞としては、「when, where, why, how, that」の 5 種類があり、一般的に先行詞を省略可能であるが、how の場合には先行詞が存在しない。ただし、「when と where の叙述的な用法」を使う場合には、そうした関係副詞を省略できず、関係副詞の直前にカンマ

( , ) をつけて使うという翻訳上非常に大切なルールは、翻訳者として是非押さえておかなければならないポイントである。

これにて、第 43 回目終わり。